

ソースメジャーユニット GS610

GS610 ソースメジャーユニットは、電圧 / 電流発生と測定機能を搭載した高速、高精度のプログラマブル電圧電流発生器で、最大 60 W までの電圧電流発生を行うとともに、負荷の電圧や電流を測定することができます。さらに、USB ストレージ機能や Web サーバ機能により、出力データのプログラミングおよび測定データ収集が容易で、パソコンとの親和性はもちろん、ネットワーク環境で使用可能な次世代のソース & メジャーです。



[主な特長]

広範囲、高精度の電圧電流発生

最大出力電圧は 110 V、最大出力電流は 3.2 A で、最大 60 W までのソース動作(電流の供給)およびシンク動作(電流の吸込み)による4象限動作が可能です。DC 電圧発生および測定の基本確度は $\pm 0.02\%$ であり、200 mV レンジから 110 V レンジまで、5.5 桁の分解能を持っています。電流発生および測定の基本確度は $\pm 0.03\%$ 、20 μ A レンジから 3.2 A レンジまでをカバーしており、分解能は 5.5 桁です。

最速 100 μ s レートの電圧電流発生

GS610 ソースメジャーユニットでは、ソースメジャーサイクルと呼ばれる時間単位で、発生と測定のレートやディレイなどのタイミングを管理しています。ソースメジャーサイクル内で発生と測定を同期して行う場合、最速 1 ms レートでの動作が可能です。測定を行わず発生のみを行う場合は、最速 100 μ s レートでの電圧発生または電流発生を行うことができます。

USB ストレージ機能による簡単なファイル操作

GS610 の内部メモリは USB ストレージデバイスとしてパソコンに認識されます。ユーザは電圧電流スイープデータを汎用ワークシート上で作成し、このデータファイル(CSV 形式)を GS610 の内部メモリにドラッグ & ドロップするだけで、電圧電流の発生データパターンを設定できます。また、測定結果データの取得も同様に GS610 の内部メモリからパソコンへのドラッグ & ドロップ操作により簡単に行うことができます。特性をグラフ化するには汎用ワークシートのグラフ描画機能を利用できます。

Web サーバ機能

GS610 は Web サーバ機能(オプション)を用意しており、汎用ブラウザを利用して GS610 をイーサネット経由でコントロールすることができます。また、GS610 の内部メモリをファイルサーバとして扱うことができ、電圧電流の発生データパターンを GS610 に転送したり、測定結果データを GS610 から読み込んだりすることができます。遠隔地制御や FTP によるデータ転送などネットワーク環境での使用が可能です。

[主な仕様]

- ・最大出力電圧、電流： ± 110 V、 ± 3.2 A
- ・最大出力パワー： 60 W
- ・電圧発生レンジ： 200 mV/2/12/20/30/60/110 V
- ・電流発生レンジ： 20 μ A/200 μ A/2 m/20 m/200 m/0.5/1/2/3 A
- ・基本確度： $\pm 0.02\%$ (電圧発生レンジ)
 $\pm 0.03\%$ (電圧発生レンジ)
- ・発生モード： DC、パルス
- ・スイープモード： リニア、ログ、プログラム
- ・発生レート： 1 m ~ 3600 μ s (ソースメジャー動作時)
100 μ s ~ 3600 μ s (ソースのみ)
- ・表示部： 256 x 64 ドット蛍光表示管
- ・質量： 約 7 kg
- ・外形寸法： 約 213(W) x 132(H) x 400(D) mm

問い合わせ先： 通信・測定器事業部

カスタマサポートセンター

TEL： 0120-137046

E-mail： tmi-cs@csv.yokogawa.co.jp